

（3）複合型サービスにおけるサービス提供実態に 関する調査研究 （速報版）

(3) 複合型サービスにおけるサービス提供実態に関する調査研究事業

1. 調査の目的

- 医療ニーズを持つ中重度の要介護者について、在宅療養の継続及び家族の介護負担軽減等を支援する複合型サービスの充実に向け、そのサービス提供の実態、特徴及び課題を明らかにすることが求められている。特に医療サービス提供のあり方について検討を行うとともに、次期報酬改定における検討に資するデータ収集を行うものとする。
- 併せて、小規模多機能型居宅介護事業所や訪問看護ステーションによる複合型サービスへの参入意向・障壁、全自治体による複合型サービス事業所の整備意向、地域における複合型サービスに対するニーズ等も把握し、複合型サービスの整備促進・普及を図る一助とする。

2. 調査方法

- 複合型サービス事業所(150事業所;平成26年6月末時点の全数)、小規模多機能型居宅介護事業所(991事業所;抽出)、訪問看護ステーション(1,642事業所;抽出)、市区町村(1,728市区町村;全数)、居宅介護支援事業所(2,000事業所;抽出)(いずれも災害救助法適用地域等を除く)を対象とし、調査票を郵送配付・郵送回収した。
- 回収数は、複合型サービス事業所は110事業所(有効回収率70.0%)、小規模多機能型居宅介護事業所は846事業所(同83.7%)、訪問看護ステーションは1,439事業所(同86.3%)、市区町村は1,291市区町村(同73.5%)、居宅介護支援事業所は1,471事業所(同71.9%)であった。

3. 調査結果概要

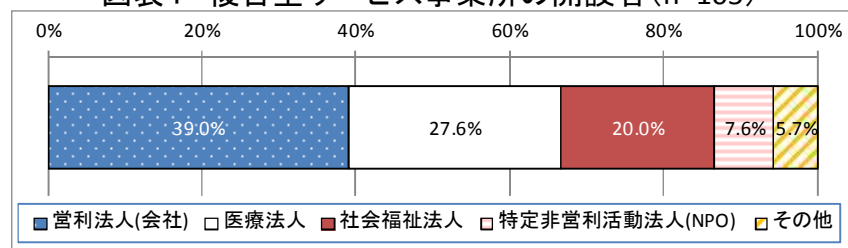
- 事業者の方針として、利用者として受け入れる状態は、「がん末期」が96.2%、「人工呼吸器」が53.3%、「たんの吸引」が81.9%で、これらは小規模多機能型居宅介護事業所の回答に比べ大きく上回っていた。
- 平成26年4月～6月の登録者のうち死亡した人は92人、うち看取りの場所が「利用者宅」が26.1%、「事業所内」が40.2%であった。
- 登録者について、職員の判断では「複合型サービスの利用以外では在宅療養継続ができない」が70.8%であった。
- 登録者のうち、訪問看護指示書が交付されていた人は49.8%であった。
- 平成26年6月の1か月間、利用継続した登録者で、訪問(看護)が提供された人は全体の35.7%であった。「通い」の提供は80.3%、「訪問(介護)」は40.4%、「泊まり」は39.3%であった。要介護度が重くなると、「訪問(看護)」と「泊まり」の割合が高くなった。
- 住まいと事業所が「同一建物」の登録者は15.4%であった。住まいが「サービス付高齢者向け住宅」や「有料老人ホーム」の場合、泊まりを含むサービス提供パターンが少なかった。
- 指定訪問看護ステーションの指定を受けている複合型サービス事業所は76.2%であった。

(3) 複合型サービスにおけるサービス提供実態に関する調査

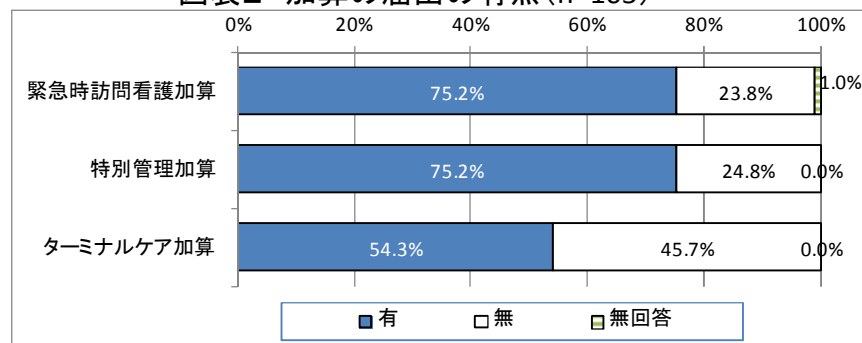
回答事業所の基本情報(平成26年6月1日時点)

- 開設者は、「営利法人」が39.0%、「医療法人」が27.6%、「社会福祉法人」が20.0%であった。(図表1)
- 加算の届出は「緊急時訪問看護加算」「特別管理加算」はいずれも75.2%、「ターミナルケア加算」が54.3%であった。(図表2)
- 利用登録数(平成26年6月1日時点)は、平均15.6人であった。(図表3)
- 利用者として受け入れる方針の状態は、「がん末期」が96.2%、「人工呼吸器」が53.3%、「たんの吸引」が81.9%で、これらは小規模多機能型居宅介護事業所に比べ大きく上回っていた。(図表4)

図表1 複合型サービス事業所の開設者(n=105)



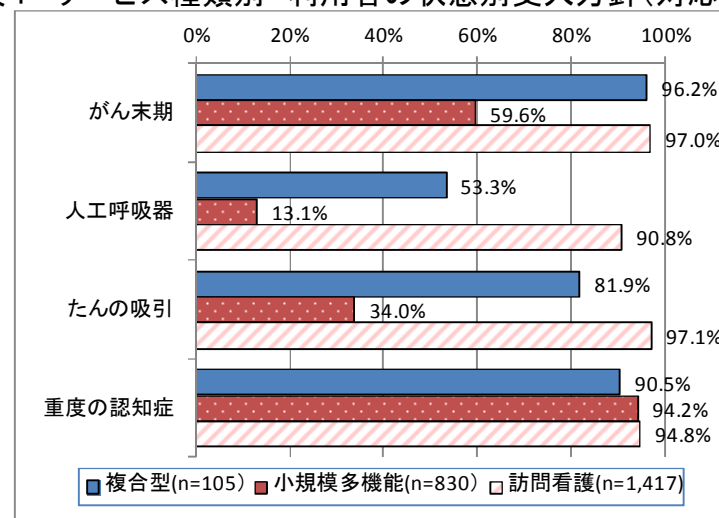
図表2 加算の届出の有無(n=105)



図表3 利用登録者数(平成26年6月1日時点)(単位:人)

	回答件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
登録者数	104	1,621	15.6	6.9	17.5

図表4 サービス種類別 利用者の状態別受入方針(対応する)



※ 開設者の分布や登録者の要介護度分布は、介護給付費実態調査と概ね相違なく、偏りがないことを確認した。

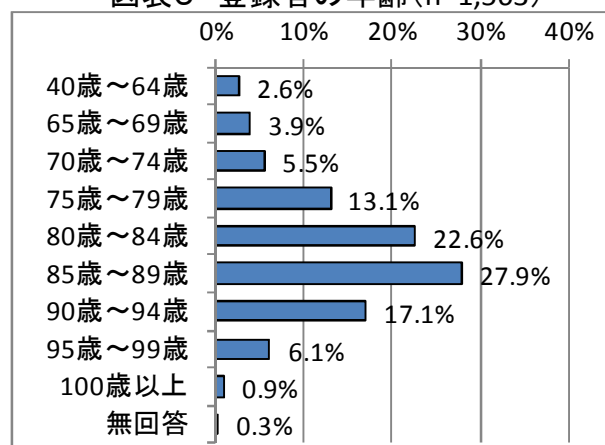
※ ここでの「受入方針」は本調査における質問への回答であり、特に事業所が、対外的に示しているものとは限らない。

(3) 複合型サービスにおけるサービス提供実態に関する調査

登録者(6月分)の基本情報、要介護度等(平成26年6月1日時点)

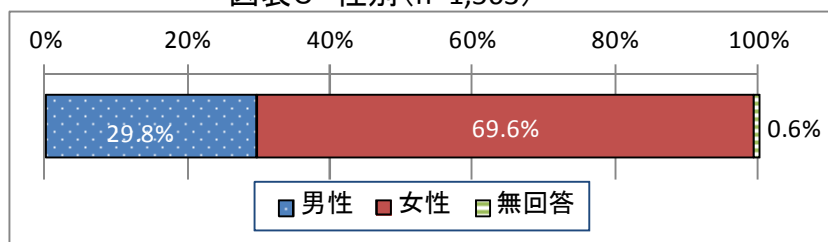
- 登録者の年齢は、平均83.8歳(図表5)、性別は「女性」が69.6%であった。(図表6)
- 世帯構成は「独居」が29.9%であった。(図表7)
- 要介護度は、「要介護3以上」が62.2%、平均要介護度は3.69であった。(図表8)
- 認知症高齢者の日常生活自立度は、「Ⅲa～M」が47.6%であった。(図表9)

図表5 登録者の年齢(n=1,563)

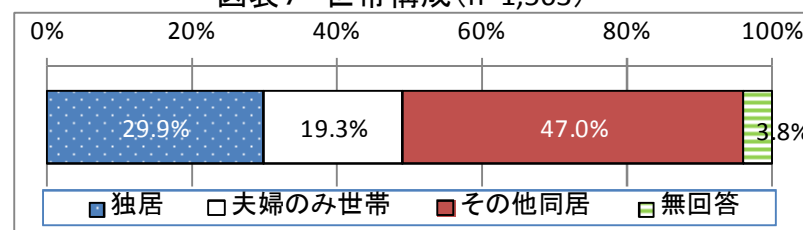


	回答件数	平均値	標準偏差	中央値
登録者の年齢(歳)	1,559	83.8	8.4	85.0

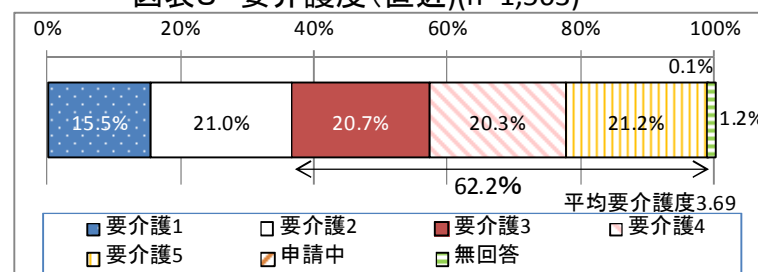
図表6 性別(n=1,563)



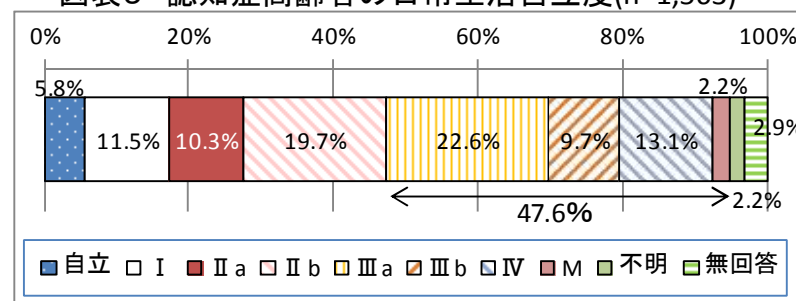
図表7 世帯構成(n=1,563)



図表8 要介護度(直近)(n=1,563)



図表9 認知症高齢者の日常生活自立度(n=1,563)



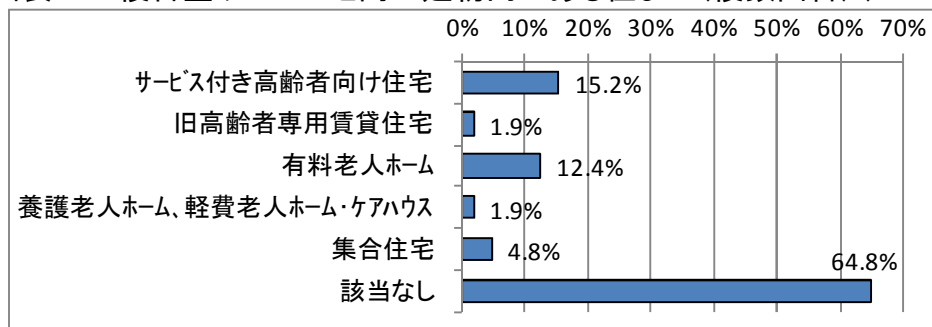
※利用者票の調査対象は平成26年6月中の利用登録者全数とした。

(3) 複合型サービスにおけるサービス提供実態に関する調査

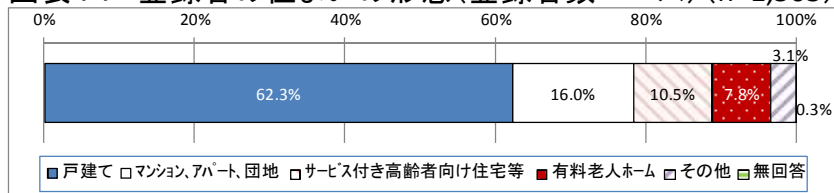
登録者(6月分)の住まい(平成26年6月1日時点)

- 複合型サービス事業所と同一建物内に「サービス付き高齢者向け住宅」がある事業所が15.2%、「有料老人ホーム」がある事業所が12.4%であった。(図表10)
- 登録者の住まいは「戸建て」が62.3%、「サービス付き高齢者向け住宅等」が10.5%、「有料老人ホーム」が7.8%であった。(図表11)
- 住まいと事業所が「同一建物」の登録者は15.4%であった。(図表12)
- 事業所ごとの同一建物の登録者は「0%」が66.7%、「100%」が3.8%であった。(図表13)

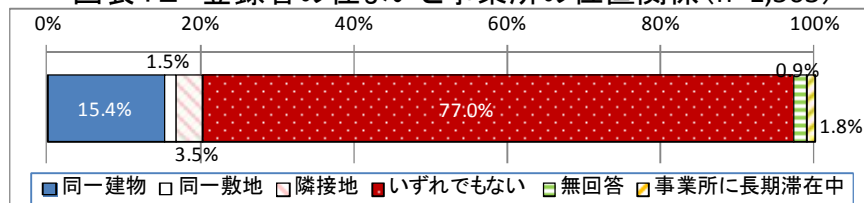
図表10 複合型サービスと同一建物内にある住まい(複数回答)(n=105)



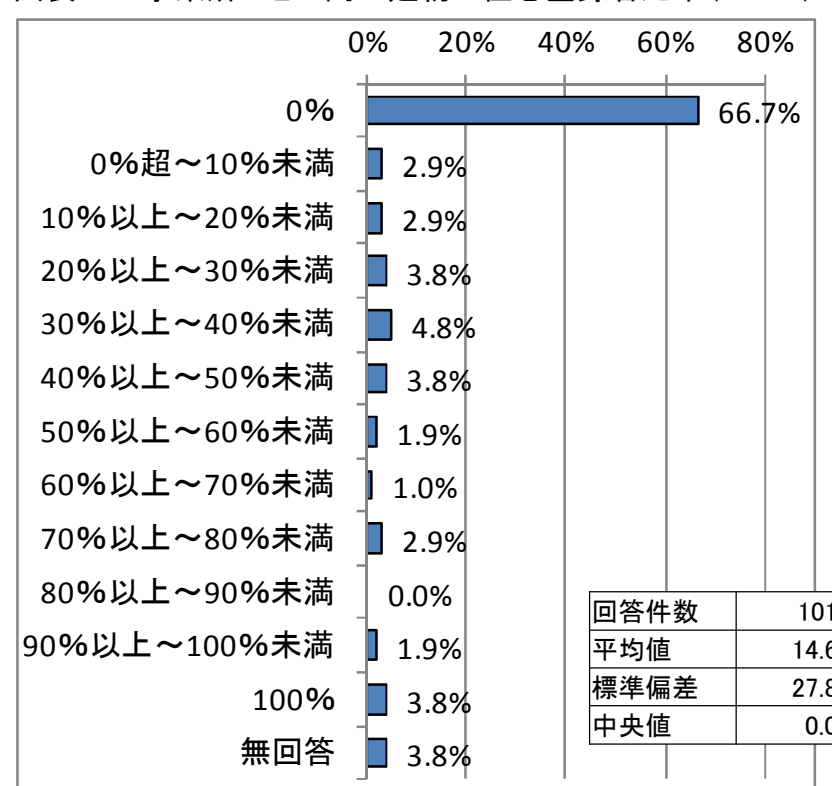
図表11 登録者の住まいの形態(登録者数ベース)(n=1,563)



図表12 登録者の住まいと事業所の位置関係(n=1,563)



図表13 事業所ごとの同一建物に住む登録者比率(n=105)



回答件数	101
平均値	14.6
標準偏差	27.8
中央値	0.0

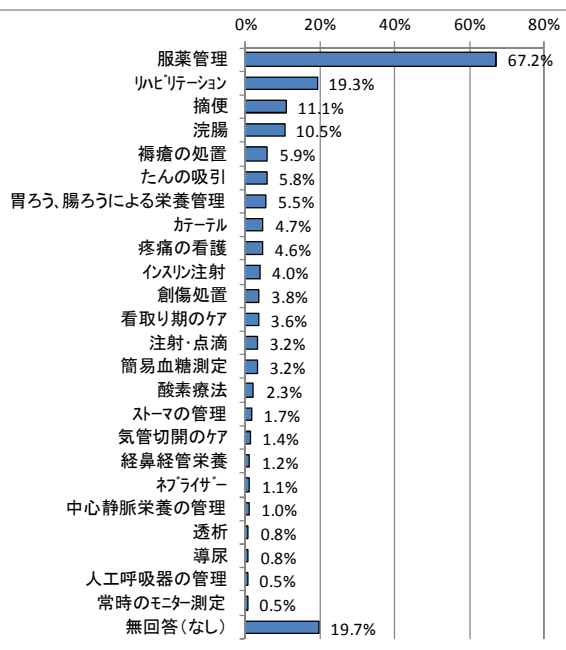
※ 「いずれでもない」は、住まいが複合型サービス事業所と「同一建物」「同一敷地」「隣接地」のいずれでもないことを指す。

(3) 複合型サービスにおけるサービス提供実態に関する調査

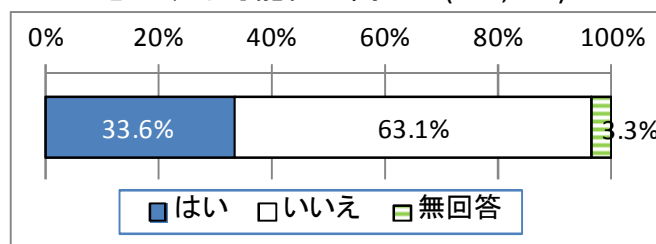
登録者(6月分)の医療ニーズ等(平成26年6月1日時点)

- 医療ニーズは、「服薬管理」が67.2%、「リハビリテーション」が19.3%、「摘便」が11.1%、「浣腸」が10.5%、「褥瘡の処置」が5.9%、「たんの吸引」が5.8%、「胃ろう、腸ろうによる栄養管理」が5.5%であった。(図表14)
- 「病状は不安定もしくは悪化する可能性が高い」が33.6%であった。(図表15)
- 職員の判断では「複合型サービスの利用以外で在宅療養継続ができない」が70.8%であった。(図表16)
- 平成26年4月～6月の登録者のうち、死亡者は92人、うち、看取りの場所が「利用者宅」が26.1%、「事業所内」が40.2%であった。(図表17)

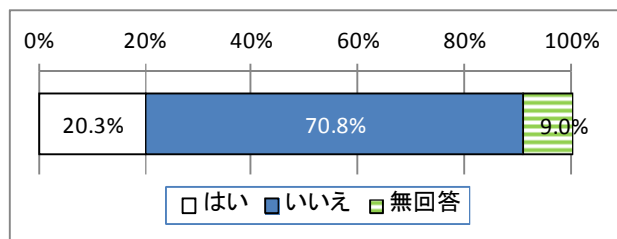
図表14 医療ニーズ(複数回答)(n=1,563)



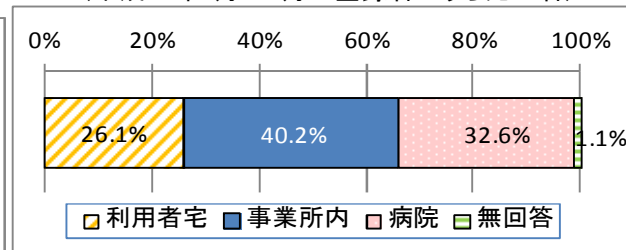
図表15 病状は不安定もしくは悪化する可能性が高いか(n=1,563)



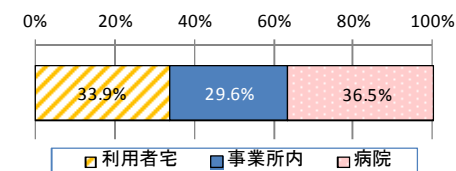
図表16 複合型サービスの利用以外で在宅療養継続は可能か(n=1,563)



図表17 看取りの場所(n=92)
(平成26年4月～6月の登録者のうち死亡者)



参考図表 死亡した利用者の状況
(n=189 複合型サービス開設後の死亡者全数)



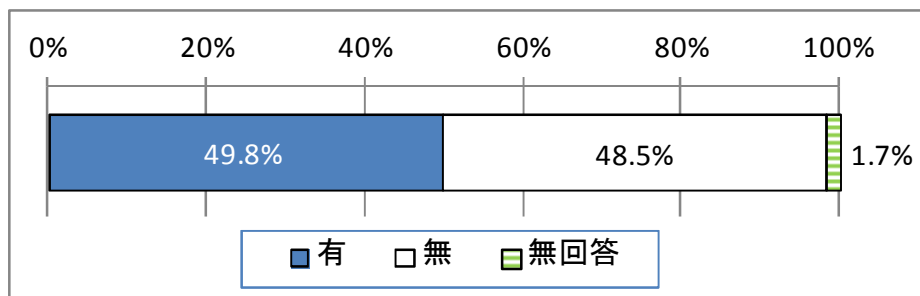
※平成24年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(平成25年度調査)

(3) 複合型サービスにおけるサービス提供実態に関する調査

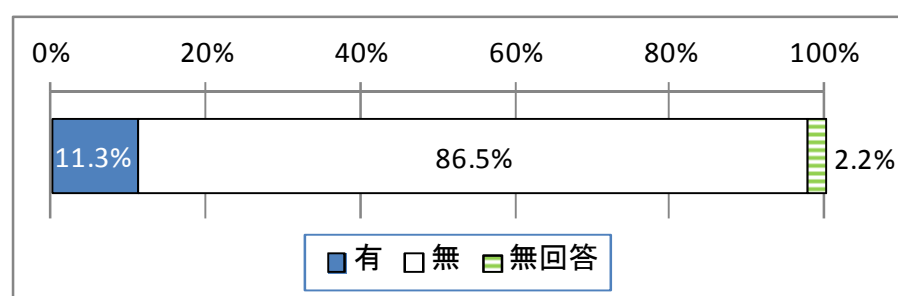
訪問(看護)提供状況等(平成26年6月分)(登録者数ベース)

- 訪問看護指示書の交付があった登録者は49.8%であった。(図表18)
- 平成26年6月の1か月間、利用継続した登録者で、複合型サービスの一環として、訪問(看護)が提供された登録者は35.7%であった。1か月の訪問回数合計は「1回～2回」が10.6%、「3回～4回」が10.3%であった。(図表19)
- 「特別管理加算」の算定があった登録者は11.3%であった。(図表20)
- 「医療保険」による訪問看護の登録者は6.4%であった。(図表21)

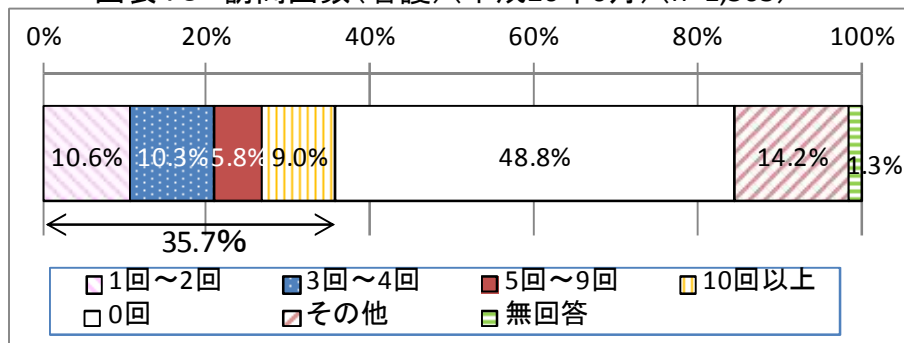
図表18 訪問看護指示書の交付(n=1,563)



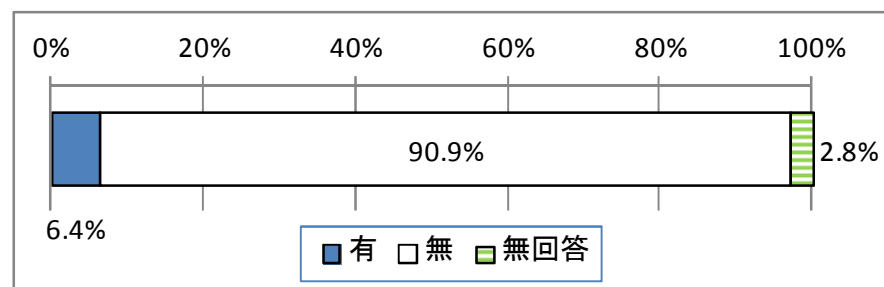
図表20 特別管理加算の算定(n=1,563)



図表19 訪問回数(看護)(平成26年6月)(n=1,563)



図表21 医療保険による訪問看護(n=1,563)



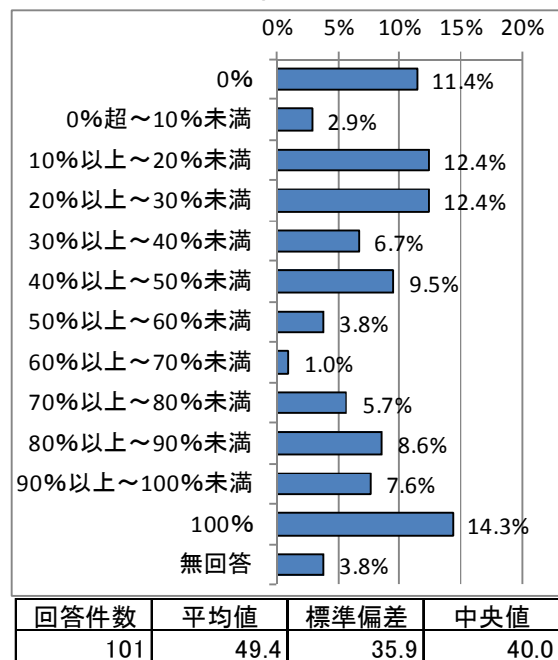
※「その他」は6月の途中で利用開始または利用終了により1か月間利用継続しなかった登録者であり、本グラフでは1月あたりの訪問回数の分析を行うため別分類とした

(3) 複合型サービスにおけるサービス提供実態に関する調査

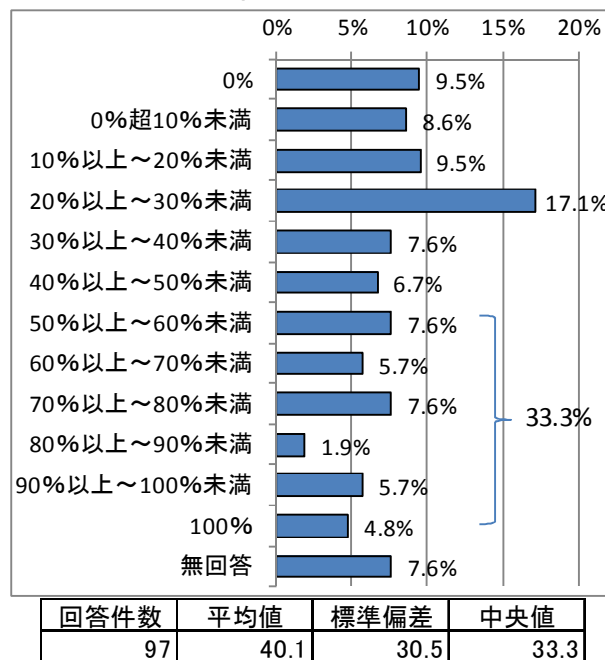
訪問(看護)提供状況等(平成26年6月分)(事業所ベース)

- 事業所ごとの訪問看護指示書有の登録者の比率は、平均で49.4%、中央値で40.0%であった。(図表22)
- 実際に、複合型サービスの一環として、1月に1回以上訪問(看護)を提供した登録者の事業所ごとの比率は、平均で40.1%、中央値で33.3%であった。登録者のうち50%以上の人に訪問(看護)を提供した事業所は、33.3%であった。(図表23)
- 事業所ごとの特別管理加算ありの登録者の比率は「0%」が40.0%、中央値で6.7%であった。(図表24)

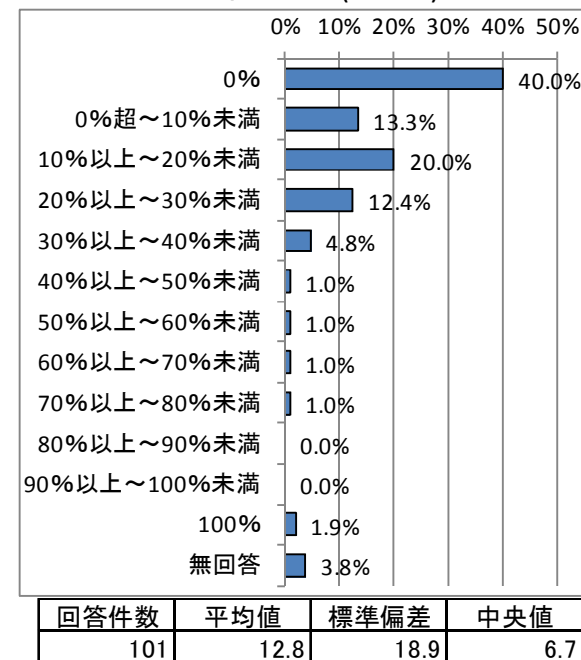
図表22 事業所ごとの訪問看護指示書
交付有の登録者比率(n=105)



図表23 事業所ごとの訪問(看護)を提供した
登録者比率(n=105)



図表24 事業所ごとの特別管理加算有の
登録者比率(n=105)



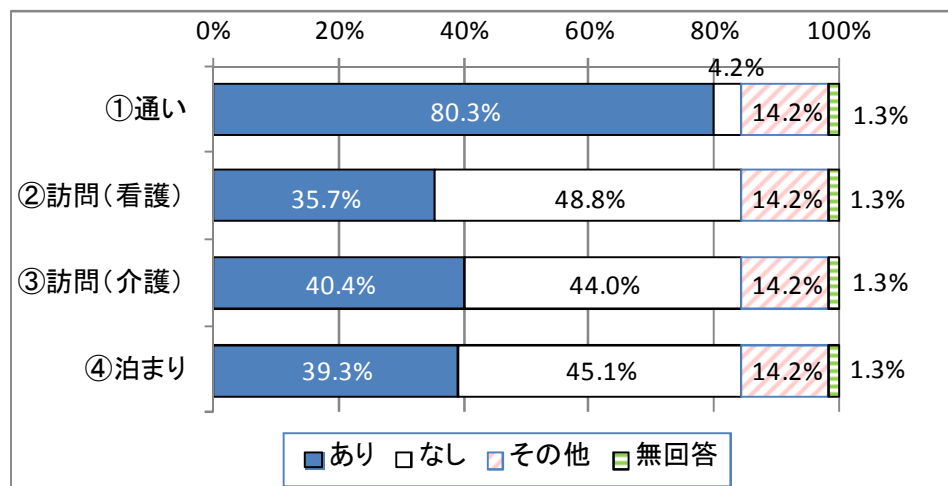
(3) 複合型サービスにおけるサービス提供実態に関する調査

サービス提供状況(平成26年6月分)(登録者数ベース)

○ 「通い」が1回以上提供された登録者は80.3%、「訪問(看護)」は35.7%、「訪問(介護)」は40.4%、「泊まり」は39.3%であった。(図表25)

○ サービス提供の組み合わせパターンをみたところ、「①通い+④泊まり」が19.5%で最も多く、次いで、「①通い+②訪問(看護)+③訪問(介護)」が15.3%だった。(図表26)

図表25 各サービスの提供の有無(n=1,563)



※ 「その他」は調査月(平成26年6月)の月途中で利用開始または利用終了したことにより1か月間利用継続しなかった登録者である。

図表26 サービス提供の組み合わせパターン

組み合わせパターン	件数	%
②訪問(看護)有り(小計)	558	35.7%
②訪問(看護)のみ	4	0.3%
+①通い	74	4.7%
+①通い+③訪問(介護)	239	15.3%
+①通い+④泊まり	128	8.2%
+①通い+③訪問(介護)+④泊まり	86	5.5%
+③訪問(介護)	24	1.5%
+④泊まり	3	0.2%
+③訪問介護+④泊まり	0	0.0%
②訪問(看護)無し(小計)	762	48.8%
+①通い	167	10.7%
+①通い+③訪問(介護)	165	10.6%
+①通い+④泊まり	305	19.5%
+①通い+③訪問(介護)+④泊まり	91	5.8%
+③訪問(介護)	27	1.7%
+④泊まり	2	0.1%
+③訪問(介護)+④泊まり	0	0.0%
いずれのサービスもなし	5	0.3%
その他	222	14.2%
無回答	21	1.3%
全体	1,563	100.0%

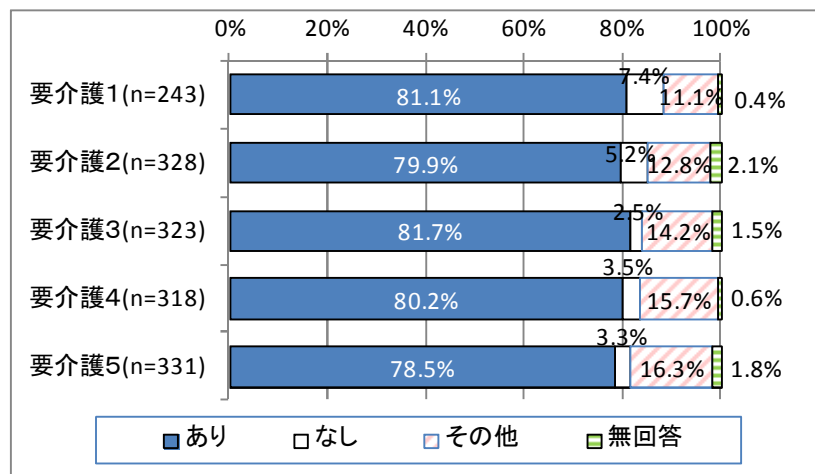
※ 「その他」は調査月(平成26年6月)の月途中で利用開始または利用終了したことにより1か月間利用継続しなかった登録者である。

(3) 複合型サービスにおけるサービス提供実態に関する調査

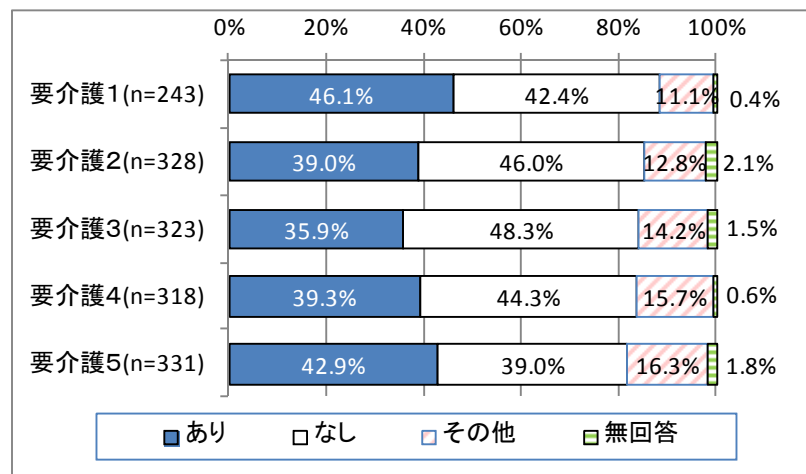
要介護度別サービス提供状況(平成26年6月分)(登録者数ベース)

○ 要介護度が重くなると、「訪問(看護)」や「泊まり」の割合が高くなった。(図表27～30)

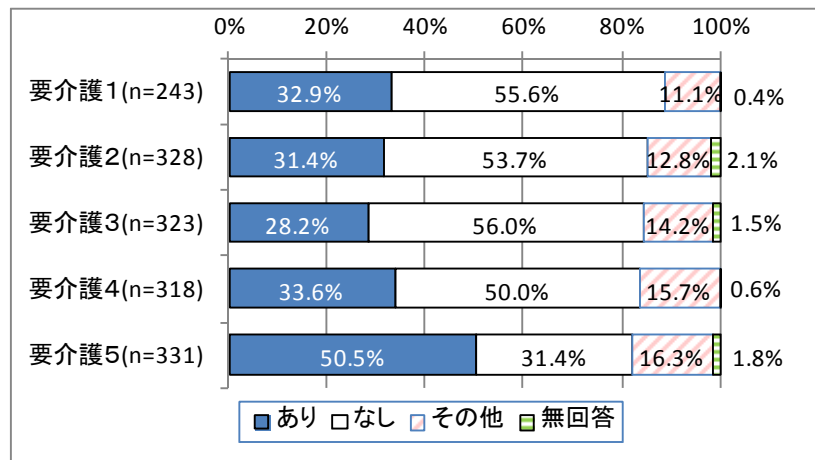
図表27 要介護度別 ①通い提供の登録者



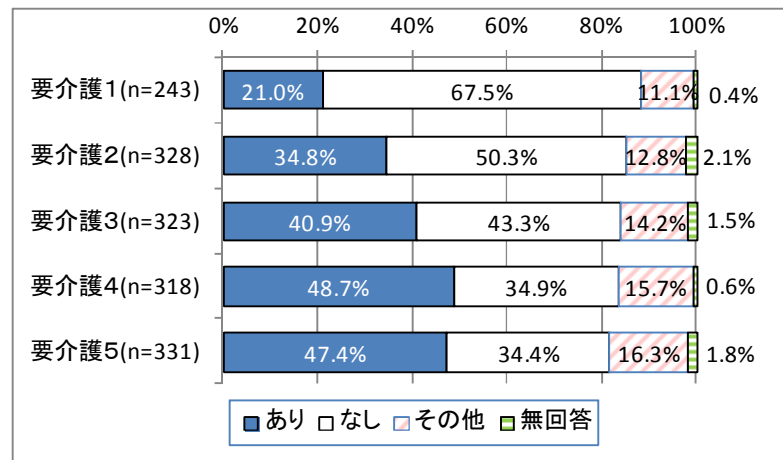
図表29 要介護度別 ③訪問(介護)提供の登録者



図表28 要介護度別 ②訪問(看護)提供の登録者



図表30 要介護度別 ④泊まり提供の登録者



※ 要介護度が「申請中」、「無回答」の場合は図中に記載していない。

(3) 複合型サービスにおけるサービス提供実態に関する調査

要介護度別サービス提供パターン(平成26年6月分)(登録者数ベース)

- 要介護度別に平成26年6月1か月間のサービスの提供パターンをみると、要介護1では「①通い+②訪問(看護)+③訪問(介護)」が18.1%で最も高く、次いで「①通いのみ」(17.7%)、「①通い+③訪問(介護)」(17.3%)であった。
- 要介護2～4ではいずれも「①通い+④泊まり」の提供パターンが最も高かった。
- 要介護5では「①通い+②訪問(看護)+③訪問(介護)」が19.3%で最も高かった。(図表31)

図表31 要介護度別 サービス提供の組み合わせパターン(上位8位まで)

	合計	②訪問(看護)有					②訪問(看護)無				
		(小計)	+①通い	+①通い +③訪問(介護)	+①通い +④泊まり	+①通い +③訪問(介護) +④泊まり	(小計)	①通いのみ	①通い +③訪問(介護)	①通い +④泊まり	①通い +③訪問(介護) +④泊まり
全体	1,563 100.0%	558 35.7%	74 4.7%	239 15.3%	128 8.2%	86 5.5%	762 48.8%	167 10.7%	165 10.6%	305 19.5%	91 5.8%
要介護1	243 100.0%	80 32.9%	17 7.0%	44 18.1%	8 3.3%	4 1.6%	135 55.6%	43 17.7%	42 17.3%	32 13.2%	7 2.9%
要介護2	328 100.0%	103 31.4%	15 4.6%	46 14.0%	19 5.8%	14 4.3%	176 53.7%	47 14.3%	40 12.2%	67 20.4%	14 4.3%
要介護3	323 100.0%	91 28.2%	12 3.7%	39 12.1%	22 6.8%	15 4.6%	181 56.0%	44 13.6%	39 12.1%	76 23.5%	17 5.3%
要介護4	318 100.0%	107 33.6%	14 4.4%	41 12.9%	30 9.4%	19 6.0%	159 50.0%	21 6.6%	24 7.5%	75 23.6%	31 9.7%
要介護5	331 100.0%	167 50.5%	14 4.2%	64 19.3%	48 14.5%	32 9.7%	104 31.4%	9 2.7%	19 5.7%	53 16.0%	21 6.3%

※ 要介護度について、「申請中」、「無回答」は表中に記載していない。

(3) 複合型サービスにおけるサービス提供実態に関する調査

住まいの状況別サービス提供パターン(平成26年6月分)

- 住まいが「サービス付き高齢者向け住宅」や「有料老人ホーム」の場合、泊まりを含む提供パターンが少ない。(図表32)
- 住まいが事業所と「同一建物」の場合、「①通い+②訪問(看護)+③訪問(介護)」が47.9%と約半数であった。
「同一建物 以外」では「①通い+④泊まり」が22.2%で最も高かった。(図表33)

図表32 住まい別 サービス提供の組み合わせパターン(上位8位まで)

	合計	②訪問(看護)有					②訪問(看護)無				
		(小計)	+①通い	+①通い +③訪問(介護)	+①通い +④泊まり	+①通い +③訪問(介護) +④泊まり	(小計)	①通いのみ	①通い +③訪問(介護)	①通い +④泊まり	①通い +③訪問(介護) +④泊まり
全体	1,563 100.0%	558 35.7%	74 4.7%	239 15.3%	128 8.2%	86 5.5%	762 48.8%	167 10.7%	165 10.6%	305 19.5%	91 5.8%
戸建て	973 100.0%	271 27.9%	51 5.2%	52 5.3%	97 10.0%	57 5.9%	542 55.7%	143 14.7%	67 6.9%	246 25.3%	72 7.4%
マンション、アパート、 団地	250 100.0%	117 46.8%	19 7.6%	40 16.0%	26 10.4%	23 9.2%	92 36.8%	18 7.2%	16 6.4%	36 14.4%	15 6.0%
有料老人ホーム	122 100.0%	64 52.5%	0 0.0%	59 48.4%	0 0.0%	1 0.8%	49 40.2%	1 0.8%	30 24.6%	5 4.1%	0 0.0%
サービス付き高 齢者向け住宅	157 100.0%	67 42.7%	2 1.3%	56 35.7%	1 0.6%	4 2.5%	64 40.8%	4 2.5%	50 31.8%	6 3.8%	4 2.5%

図表33 住まいと事業所との位置関係別 サービス提供の組み合わせパターン(上位8位まで)

	合計	②訪問(看護)有					②訪問(看護)無				
		(小計)	+①通い	+①通い +③訪問(介護)	+①通い +④泊まり	+①通い +③訪問(介護) +④泊まり	(小計)	①通いのみ	①通い +③訪問(介護)	①通い +④泊まり	①通い +③訪問(介護) +④泊まり
全体	1,563 100.0%	558 35.7%	74 4.7%	239 15.3%	128 8.2%	86 5.5%	762 48.8%	167 10.7%	165 10.6%	305 19.5%	91 5.8%
同一建物	240 100.0%	132 55.0%	4 1.7%	115 47.9%	2 0.8%	7 2.9%	76 31.7%	5 2.1%	61 25.4%	5 2.1%	3 1.3%
同一建物以外	1,281 100.0%	413 32.2%	69 5.4%	122 9.5%	120 9.4%	77 6.0%	661 51.6%	158 12.3%	100 7.8%	284 22.2%	87 6.8%

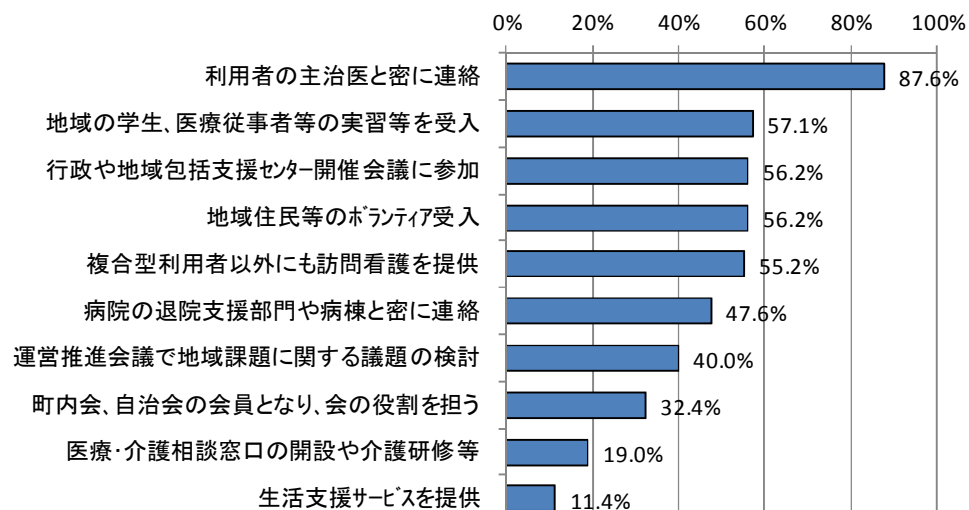
※ 住まいの位置が、「無回答」の場合は表中に記載していない。

(3) 複合型サービスにおけるサービス提供実態に関する調査

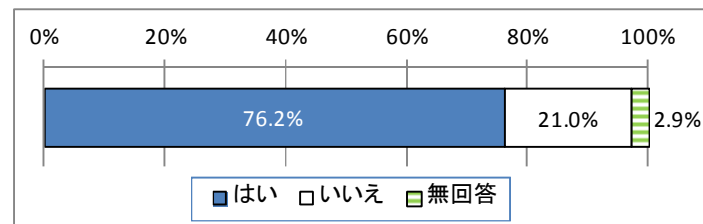
事業所の地域との関わりと指定訪問看護ステーションの指定状況(平成26年6月)

- 地域との関わりで、「地域の学生、医療従事者等の実習等を受入」は57.1%、「地域住民等のボランティア受入」が56.2%であった。(図表34)
- 指定訪問看護ステーションの指定を受けている事業所は76.2%であった。(図表35)
- 指定ありの実業所では、複合型サービスの登録者のうち、訪問(看護)を提供した登録者が39.6%であった。(図表36)

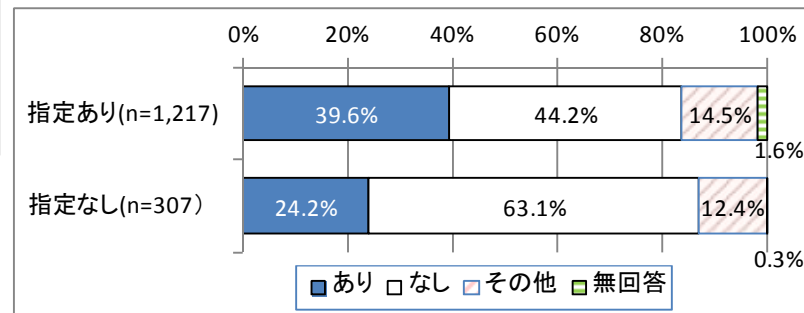
図表34 地域との関わり(n=105)



図表35 指定訪問看護ステーションの指定(n=105)



図表36 指定訪問看護ステーションの指定の有無別訪問(看護)提供状況(登録者数ベース)

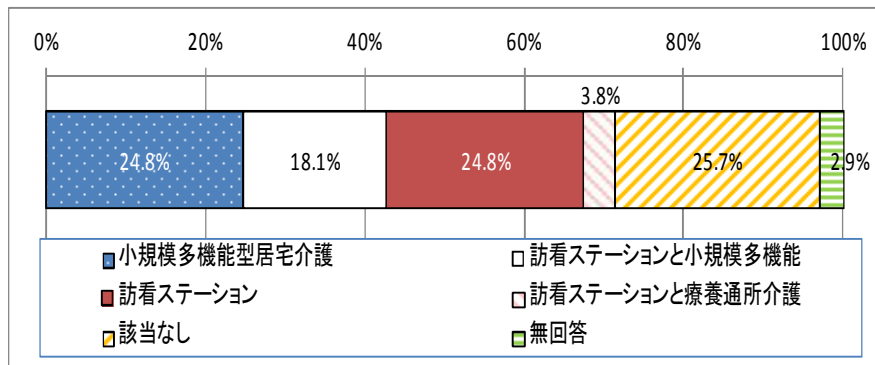


(3) 複合型サービスにおけるサービス提供実態に関する調査

事業所の開設前の状況等と収支状況(平成26年6月)

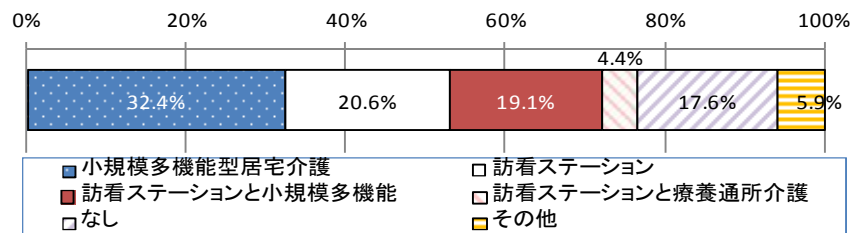
- 複合型サービス開設前に「小規模多機能型居宅介護」を実施の事業所が24.8%、「訪問看護ステーション」を実施の事業所が24.8%であった。(図表37)
- 開設前の事業が「訪問看護ステーション」の場合「赤字」が57.7%であった。(図表38)

図表37 複合型サービス開設前の事業実施状況(n=105)



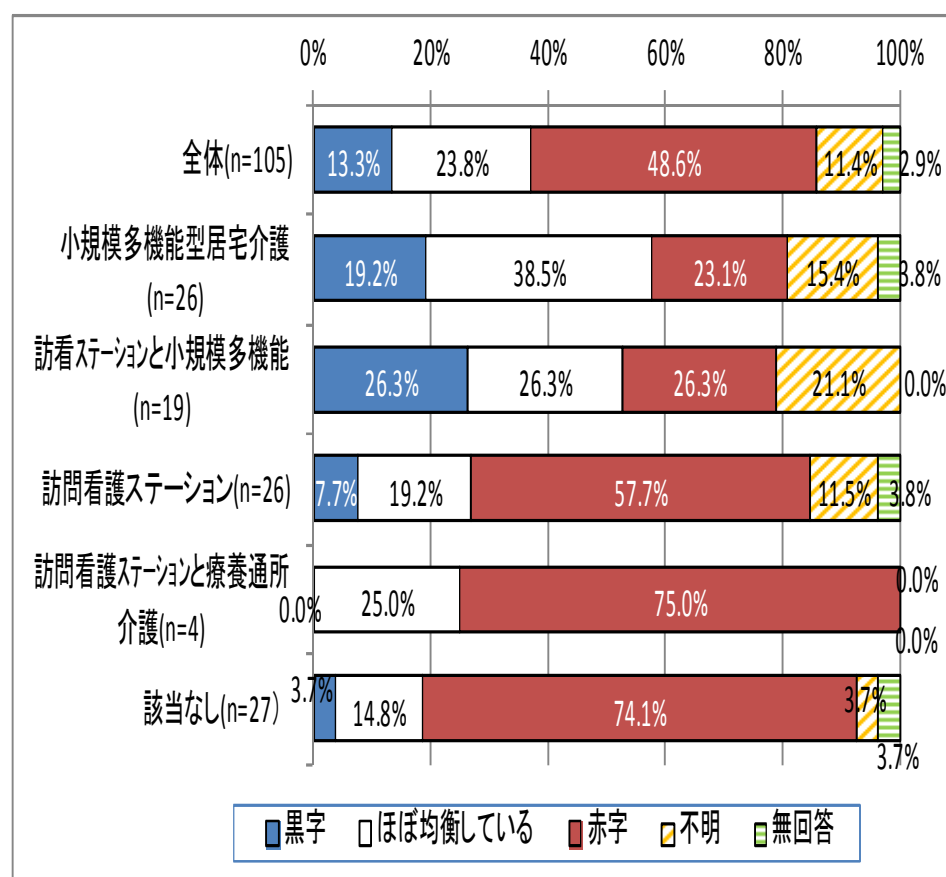
※「該当なし」は、「小規模多機能型居宅介護」「訪問看護ステーション」のいずれも実施していなかったものであり、他の介護保険サービスの実施の有無は問わない。

参考図表 複合型サービス開設前の事業実施状況(n=68)



※平成24年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(平成25年度調査)

図表38 開設前の事業の実施状況別 収支



※ 開設前の事業が、「無回答」は図中に記載していない。